

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	7年 7月 6日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪府枚方市伊加賀緑町2番2号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 恩地食品株式会社 代表取締役社長 恩地 宏英 電話番号：072-845-1121

環境マネジメントシステムの名称	恩地環境推進会議(恩地独自システム)
適用範囲	京都工場設備全般
導入年月日	平成23年 10月 1日
認証番号	
基本方針	私たちは生産活動の全てにおいて「地球にやさしい工場」を基本理念として、社員一同地球温暖化問題を重視し、改善に努めます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	生産工程での廃棄物(植物性残渣)の1%削減、原単位での温室効果ガスの排出量を基準年度より3年間で6%の削減を目指す。
目標を達成するための取組の内容	生産工程毎の生産廃棄を削減するため、よりデータの精度を上げるよう、各作業毎の問題点及びデータを確立し対策を行う。 また、太陽光発電の最大効率を確保できるように関電と協力し管理を強化する。
目標を達成するための取組の進捗状況	令和6年度は廃棄量については昨対で99%に抑えることが出来た。 太陽光発電量は昨年と比較して98.5%の発電量を確保できた。昨年より発電量は下がったものの、天気によって左右されるものであり、基本的な効率は維持している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	生産数量が昨対94%であったのに対して、廃棄量が99%であった。これは、生産数下がったことにより効率が悪化し廃棄が多く出たものと考えられる。 生産数下がったにもかかわらず、電力使用量は昨対107%になってしまった。これも生産効率が悪くなったためと思われる。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の順守状況について月1回は確認している。 これまで違反や行政当局からの指摘等はない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価、見直しの必要性については年1回検討している。 来期以降も同システムにおいて推進していく。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。